介護保険負担限度額認定申請書

令和 月 日

(宛先)

根室市長

次のとおり関係書類を添えて、食費・居住費(滯在費)に係る負担限度額認定を申請します。

7	7	IJ	ガ	ナ													被保険	- 大	釆县							
被保険者氏名																	H 7			-	+					
	<u> </u>	Æ						<u></u>		177							個人番		01 1		<u> </u>			<u> </u>	L.	_
	E.	年	月	日	=	99	• >	大 ·	• [俗		年		月		日	性	;	別		男			-	女	
Ē	住 所				•												•	連絡	·先 _							
入所(院)した 介護保険施設の 所在地及び名称					所	生地	<u>k</u>		Ŧ 																	
<i>J</i> .	7 1	(※		147		名	称											連	絡先							
7	闭	「(院) (※		月日					•	年		月		月	((※) 介護 (ショート	保険施設 ステイを	に入 利用	所(吟 してい	i)し vる場	ていた 合は、	ない! 記.	易合 。 入不	及び 要で	す。	
配	倜	者	の1	有 無				≢	Ī		•		無			左記におい			合は、「	以下の	「配偶	者に	.関す	る事	項」につ	၁
		フリ	ガ	ナ																						
配偶者		氏		名																						
者に関		生年	月	日		明	• 7	大	• [召		年		月		日	個人番	:号								
する	す る 事 前年度1月1日				〒 連絡先																					
事					_																					
項		現在	の住	丽	₹																		課	税制	犬況	
項		現住別		異な	Т																	Ī			犬況 	į
項		現住別	近と:	異な		①/	生祀	保	遵 受	 そ給者	新/② 市	可村	民税廿	世帯非課	税で	ある老舗	龄福祉 ^在	F金	受給	者		Ē				<u>.</u>
	(現住所る場	所と:場合)	異な)		③i 課程 年	市町 脱年 須 8	」 「村」 三金」 0.9	民形 仅 <i>了</i> 万尸	記世帯 へ額と 引以了	非課	税者で 族年金 (受給し	であっ 全※・ ている年		金】 の 下さい。)収入額以下同じ。	i、その	他の)合計				果税	i • ≢	非課税	<u>.</u>
4	(現住別	所と湯合	異な)		③i 課程 年 (④i 課程	市兇額※一市兇	「村」 「一位」 「一位」 「一位」 「一位」	民収万年民収万年の形プ	世報と	持非課 でで 夫年金、 持非課 は、「	税族(受給し) 税族年 発生 で 発	である。 でいる年 ・	て、 障害年会 を COLで 日日子年金、	金】 の 下さい。 遺児年	以下同じ。	i、その) ます。以 ⁻	他の) 合計 。	 		 質の・	果税 	・す	ド課税	<u>.</u>
4	又.	現住所る場合	所と湯合	異な) す		③課年 ④課年 ⑤課	市党領《一市党領》市党	村。 10.9 10.9 10.9 10.9	民収万年民収万民収入日報プロ	世額以か 世額を 世額と	きまして、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	税族(異母・税族12の発生) おいません おいまま おいまい おいまい 税族にある おいまい しゅうしゅう はい	できる。 で。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 でる。 でき。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 で。 と。 できる。 できる。 できる。 と。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 と。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 で。 と。 で。	て、 障害年会 (BB子年金、) で、 障害年会 下です。	金】の下さい。 遺児年)収入額 以下同じ。 金を含み)収入額	i、その) ます。以 ⁻ i、その	他 <i>0</i> 下同 U)合計 :。 	 	 身金都	質の一	果税 合 合 合	物が	ド課税	<u> </u>
4 × ×	又る	現住なり、特申・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	所揚 こ	異) す告 関告		③課年 ④課年 ⑤課年 預()す。	市党額※「市党額」市党額「庁司》	丁村」 10.9 丁村」 丁村。 丁村。 丁丁三金 10.9 11.0 11.	民収万年 民収万 民収万 有万号	世額以か 世額を 世額超 証)保	非【で年 非【え 非【ま 等④のの	税族(受母)税族12税族1。金方者年齢子者年万者年 額は5	あ※ cc 金 が 会円 あ※ 合	で、 障害年会 ・	金】の 下さい。 遺児年 金】の を】の	D収入額以下同じ。 金を含み D収入額	i、その) jます。以 i、その i、その i、その l(夫婦	他の 他の 他の は20 は50	O合計 C合計 O合計 OOO O O O O O O O O O O O	上所得 一所得 一所得 一所得 一所明 可用	事金都 事金都 11,5	 (の) (の) (の) (の) (の)	開 一 合 一 合 一 方げ	・ 非 額 x 十 額 x 1 650 以 1 650 以	ド課税 が 万下で	
4 × ×	又る	現住5 人等申	所揚 こ	異) す告 関告		③課年 ④課年 ⑤課年 預(す円)	市党額《一市党額一市党額 拧司 中年8	「村」 「一村」 「一村」 「一大会 「一大会」 「一大会 「一大 「一 「一大会 「一大会 「一大会 「一 「一大会 「一大会 「一大会 「一大会 「一 「一大会 「一 「一 「一 「一 「一 「一	民収万 民収万 民収万 有万2で	世額以か 世額を 世額超 証)保	非【で年 非【え 非【ま 等④のの	税族(受母)税族12税族1。金方者年齢子者年万者年 額は5	あ※ cc 金 が 会円 あ※ 合	でまた。では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	金】の 下さい。 遺児年 金】の 方550万の **	D収入額以下同じ。 金を含み D収入額	i、その) jます。以 i、その i、その i、その l(夫婦	他の 他の 他の は20 は50	ン合計 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	上所得 一所得 一所得 一所得 一所明 可用	身金都 引1,5 ()	 	開 合 合 方げは	十額以 计额 以 计	ド課税 万下で アで) *
中で	又5 質り通	現合を生物を発生しています。	所場	異)		③課年 ④課年 ⑤課年 預(す円)	市党額《一市党額一市党額 拧司 中年8	「村」 10.9 15.0.9 15.0.9 15.0.9 15.0.9 16	民収万 民収万 民収万 有万2で	世額以か 世額を 世額超 証)保	非【で年 非【え 非【ま 等④のの	税族(受母)税族12税族1。金方者年齢子者年万者年 額は5	できる。 ***・*********************************	で障害年年金、 ででででででででででででででででででででででででででででででででででで	金】の 下さい。 遺児年 金】の 方550万の 条託	の収入額 以下同じ。 金を含み の収入額 の収入額 の00万(の00万(の場合、(i、その) ます。以 [・] i、その i、その i、その jの「500	他の 他の は250方 円	つ合計 つ合計 つ合計 000万円 000万円 では100 下記	・ 所	事金額 、	 () () () () () () () () () (東 合 合 方げは 卒 はは	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ド課税 が 万下万 (下) (下)) **
中で	又5 質り通	現住なり、特申・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	所場	異)		③課年 ④課年 ⑤課年 預(す円)	市党額《一市党額一市党額 拧司 中年8	「村」 10.9 15.0.9 15.0.9 15.0.9 15.0.9 16	民収万 民収万 民収万 有万2で	世額以か 世額を 世額超 証)保	非【で年 非【え 非【ま 等④のの	税族(受母)税族12税族1。金方者年齢子者年万者年 額は5	できる。 ***・*********************************	で障害年年金、ででででででででででででででででででででででででででででででででででで	金】の 下さい。 遺児年 金】の 方550万の 条託	の収入額 以下同じ。 金を含み の収入額 の収入額 の00万(の00万(の場合、(i、その) ます。以 [・] i、その i、その i、その jの「500	他の 他の は250方 円	つ合計 つ合計 つ合計 000万円 000万円 では100 下記	・ 所	事金和 (3) (3) (1),5(1)	 () () () () () () () () () (東 合 合 方げは 卒 はは	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ド課税 が 万下万 (下) (下)) **

注意事項

- (1) この申請書における「配偶者」については、世帯分離をしている配偶者又は内縁関係の者を含みます。 (2) 預貯金等については、同じ種類の預貯金等を複数保有している場合は、そのすべてを記入し、通帳等の写し を添付してください。
- (3) 枠内に書き切れない場合は、余白に記入するか又は別紙に記入の上添付してください。
 (4) 虚偽の申告により不正に特定入所着介護サービス費等の支給を受けた場合には、介護保険法第22条第1項 の規定に基づき、支給された額及び最大2倍の加算金を返還していただくことがあります。

照	会	同	意	欄
ハベ	云	l⊢ı	心区	们刚

介護保険負担限度額認定のために必要があるときは、官公署、年金保険者又は銀行、信託会社 その他の機関に私及び配偶者の課税状況及び保有する預貯金並びに有価証券等の残高について 照会することに同意します。

令和	年	月	日				
-1- 1			₹				
本人	住原	斤					
	氏名	Ż			_		
			₹				
配偶者	住原	斤					
	氏名	Ż			_		